

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2007-194876(P2007-194876A)

【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2007-029

【出願番号】特願2006-10655(P2006-10655)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 C

G 03 G 21/00 3 8 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月10日(2009.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の機能を備える画像処理装置であつて、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

電源オフ状態又は省電力状態において、前記複数の機能のいずれかの選択の指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段が受け付けた機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記複数の機能の起動順序を設定する設定手段を有し、

前記制御手段は、前記受付手段が受け付けた機能に対応するプログラムを起動し、その後、他のプログラムを前記設定手段に設定された起動順序に基づいて起動することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記受付手段は、電源起動又は前記省電力状態からの復帰の指示を受け付ける機能も兼ねることを特徴とする請求項1又は2記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記受付手段は、前記画像処理装置が備える複数の機能毎に対応したキーを備えることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記受付手段は、複数の機能の指示を受け付け可能であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項6】

複数の機能を備える画像処理装置であつて、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

ユーザ情報毎に優先的に起動する機能を示す優先機能選択情報を記憶するユーザ情報記憶手段と、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、ユーザ情報を入力する入力手段と、

前記入力手段により入力されたユーザ情報に対応する優先機能選択情報が前記ユーザ情報記憶手段に記憶されている場合、該優先機能選択情報に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 7】

前記入力手段は、着脱可能な記録媒体からユーザ情報を読み取ることによりユーザ情報を入力することを特徴とする請求項 6 記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記ユーザ情報記憶手段は、ユーザ情報毎に、電源遮断前又は前記省電力状態への移行前に使用された機能を前記優先機能選択情報として記憶することを特徴とする請求項 6 又は 7 記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記着脱可能な記録媒体は、カード型の認証カードを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

複数の機能を備える画像処理装置であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、原稿から画像を読み取る読み取り手段、又は、前記読み取り手段に原稿を給装する給送手段に原稿がセットされていると判定した場合には、前記複数の機能のうち原稿読み取り動作を行う機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 11】

前記制御手段は、電源起動時又は前記省電力状態からの復帰時から特定の時間内に、前記読み取り手段又は前記給送手段に原稿がセットされた場合には、前記複数の機能のうち原稿読み取り動作を行う機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御することを特徴とする請求項 10 記載の画像処理装置。

【請求項 12】

複数の機能を備える画像処理装置であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

前記画像処理装置が備える複数の機能に関する操作指示を受け付ける操作部と、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記操作部が前記複数の機能のいずれかに対応する操作指示を受け付けた場合には、前記複数の機能に対応する複数のプログラムの全てを起動することなく前記操作指示を受け付けた機能に対応するプログラムを前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 13】

複数の機能を備える画像処理装置であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

前記機能毎の使用回数を記憶する使用回数記憶手段と、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記使用回数記憶手段に記憶された機能毎

の使用回数に基づいて、優先的に起動する機能を選択する選択手段と、

前記選択手段が選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 14】

前記使用回数記憶手段は、前記機能毎の使用回数をユーザ情報毎に記憶するものであり、

前記選択手段は、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、入力されるユーザ情報に応じて前記使用回数記憶手段に記憶された機能毎の使用回数に基づいて、優先的に起動する機能を選択することを特徴とする請求項13記載の画像処理装置。

【請求項 15】

複数の機能を備える画像処理装置であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

外部装置と接続するための1つ以上のインターフェース手段と、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記インターフェース手段の接続状態に基づいて、前記画像処理装置が備える複数の機能のうち、優先的に起動する機能を選択する選択手段と、

前記選択手段が選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 16】

前記選択手段は、外部装置との通信手段が接続状態であると判定した場合には、送信機能を選択することを特徴とする請求項15記載の画像処理装置。

【請求項 17】

前記制御手段は、公衆回線との通信手段が接続状態である場合には、ファクシミリ機能を選択することを特徴とする請求項15記載の画像処理装置。

【請求項 18】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

電源オフ状態又は省電力状態において、前記複数の機能のいずれかの選択の指示を受け付ける受付ステップと、

前記受付ステップが受け付けた機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 19】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、

前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

ユーザ情報毎に優先的に起動する機能を示す優先機能選択情報をユーザ情報記憶手段に記憶するユーザ情報記憶ステップと、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、ユーザ情報を入力する入力ステップと、

前記入力ステップにより入力されたユーザ情報に対応する優先機能選択情報を前記ユーザ情報記憶手段に記憶されている場合、該優先機能選択情報に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 20】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、
前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、原稿から画像を読み取る読み取ステップ、又は、前記読み取ステップで原稿を絞りする絞り手段に原稿がセットされていると判定した場合には、前記複数の機能のうち原稿読み取り動作を行う機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 2 1】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、
前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

前記画像処理装置が備える複数の機能に関する操作指示を受け付ける操作ステップと、
電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記操作ステップで前記複数の機能のいずれかに対応する操作指示を受け付けた場合には、前記複数の機能に対応する複数のプログラムの全てを起動することなく前記操作指示を受け付けた機能に対応するプログラムを前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 2 2】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、
前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

前記機能毎の使用回数を使用回数記憶手段に記憶する使用回数記憶ステップと、
電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記使用回数記憶手段に記憶された機能毎の使用回数に基づいて、優先的に起動する機能を選択する選択ステップと、

前記選択ステップで選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 2 3】

複数の機能を備える画像処理装置の起動方法であって、
前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムをプログラム記憶手段に記憶するプログラム記憶ステップと、

1つ以上のインターフェース手段によって外部装置と接続するインターフェースステップと、

電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記インターフェース手段の接続状態に基づいて、前記画像処理装置が備える複数の機能のうち、優先的に起動する機能を選択する選択ステップと、

前記選択ステップで選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像処理装置の起動方法。

【請求項 2 4】

請求項 1 8 乃至 2 3 のいずれか 1 項に記載された画像処理装置の起動方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、電源オフ状態又は省電力状態において、前記複数の機能のいずれかの選択の指示を受け付ける受付手段と、前記受付手段が受け付けた機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0011****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正4】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0012****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0012】**

また、本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、ユーザ情報毎に優先的に起動する機能を示す優先機能選択情報を記憶するユーザ情報記憶手段と、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、ユーザ情報を入力する入力手段と、前記入力手段により入力されたユーザ情報に対応する優先機能選択情報が前記ユーザ情報記憶手段に記憶されている場合、該優先機能選択情報に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0013****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0013】**

また、本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、原稿から画像を読み取る読み取り手段、又は、前記読み取り手段に原稿を給装する給送手段に原稿がセットされていると判定した場合には、前記複数の機能のうち原稿読み取り動作を行う機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムよりも先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0014****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0014】**

さらに、本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、前記画像処理装置が備える複数の機能に関する操作指示を受け付ける操作部と、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記操作部が前記複数の機能のいずれかに対応する操作指示を

受け付けた場合には、前記複数の機能に対応する複数のプログラムの全てを起動することなく前記操作指示を受け付けた機能に対応するプログラムを前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、前記機能毎の使用回数を記憶する使用回数記憶手段と、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記記憶手段に記憶された機能毎の使用回数に基づいて、優先的に起動する機能を選択する選択手段と、前記選択手段が選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明は、複数の機能を備える画像処理装置であって、前記画像処理装置が備える複数の機能に対応した複数のプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、外部装置と接続するための1つ以上のインターフェース手段と、電源起動時又は省電力状態からの復帰時に、前記インターフェース手段の接続状態に基づいて、前記画像処理装置が備える複数の機能のうち、優先的に起動する機能を選択する選択手段と、前記選択手段が選択した機能に対応するプログラムを他の機能に対応するプログラムより先に前記プログラム記憶手段から読み出して起動するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする。